

第4学年道徳学習指導案

日時 平成16年9月10日(金) 5校時

児童 男6名 女6名 計12名

指導者 教諭 富田 美奈子

- 1 総合単元名 共に生きる～わたしたちのきょうど御返地～
- 2 目 標 郷土の自然を愛し、様々な文化や伝統を大切にしようとする心情を育てるとともに、進んでかかわろうとする実践的意欲を養う。

3 単元について

児童の住む御返地地区は、豊かな自然に恵まれ、伝統的な文化や行事が受け継がれている。しかし、児童は郷土の自然や文化を守り続けていこうとする意識が薄い。

郷土と「共に生きる」ということは、郷土の自然を愛し、様々な文化や伝統を守り、大切にしていこうとする心である。この単元をとおして、児童に郷土の一員としてできることを考えさせ、進んでかかわろうとする実践的意欲をつなげたい。

また、郷土を愛する心を基盤として、日本の文化を愛する心を持ち、外国の人々や文化に親しもうとする心情を育てたい。

4 学習の構想

月	道徳の時間	教科・特別活動・総合的な学習・その他の教育活動
8	<p>きょうどの自然を大切に</p> <p>3 - (1) 自然愛、動植物愛護 しぜんっていいな 「わが家は自然観察園」 自然の素晴らしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にしようとする気持ちを育てる。 自然を大切に 「ほたるの川」本時 自然のすばらしさや不思議さに気付き、進んで自然を大切にしようとする心を育てる。</p>	<p>総合的な学習の時間「御返地自然レポート」 御返地の自然や動植物について調べ、環境保護について考える。 ボランティア活動 自分たちの学年が中心となり、全校にボランティア活動を呼びかける。(飼育活動、清掃、草取りなど) 理科 「すずしくなると」 気温の変化による植物の成長や昆虫の様子に関心を持ち、観察を進んで行く。また、これらを大切にしようとする。</p>
9	<p>きょうどの伝とうを守る</p> <p>4 - (5) 郷土愛 きょうどの伝とうを守る 「祭りだいこ」本時 郷土の文化と伝統を大切に、郷土を愛する心を育てる。</p>	<p>ふれあい草取り 地域の高齢者の方と共に草取りを行い心の交流を図るとともに、郷土にまつわる話を聞く。 社会 「きょうどに伝わるねがい」 地域には、文化財や行事など、よりよい暮らしを願う人々の思いが込められたものが、今も大切に伝えられていることについて考える。 校外学習 歴史民俗資料館に行き、昔の道具や行事に使われたものなどを調べる。</p>
	<p>日本のよさを伝える</p> <p>4 - (6) 愛国心 すばらしい日本の文化 「日本のおべん当」 日本の文化を愛する心を持ち、外国の人々や文化に関心をもとうとする心情を育てる。</p>	<p>ALT 交流(英語活動) 外国語指導助手との交流をとおして外国の言語や文化に関心を持つとともに、自国の文化を分かりやすく伝える。</p>

4 本時の指導

(1) 主題名 きょうどの伝とうを守る(4 (5) 郷土愛)

(2) 資料名「祭りだいこ」(出典 学研「みんなのどうとく4年生」)

(3) 主題設定の理由

ア 価値について

学習指導要領第2章道德の目標及び内容の第3学年及び第4学年の内容の4「主として集団や社会とのかかわりに関すること」の(5)に「郷土の文化と伝統を大切にし、郷土を愛する心を持つ」とある。この段階においては、地域の行事や活動について、社会科の学習などを通して関心を持ったり、実際に参加したりすることに伴い、それらに積極的にかかわろうとする態度を育てることが求められている。

生活様式が変化している今、子供たちが持つ郷土に対する思いは希薄になってきている。自分が住む町や村には、多くの人々が守り、伝えてきた行事や活動、人と人のつながりがあることを理解させ、郷土を愛する人々の思いがこめられていることを考えさせたい。

自分の育つ地域における人々の生活、文化、伝統に親しむことを通して、郷土を大切にすることを育てるとともに、日本の文化や伝統のよさに目を向けさせたい。そして自国の文化や伝統を愛することから、他国の文化や伝統を理解し、尊重する心に広げることができると考える。

イ 児童について

学級の児童は、総合単元的な道德学習「共に生きる～わたしたちのきょうど御返地」というテーマで郷土の自然や文化、伝統と共に生きるためのよりよい生き方について学んでいる。その中で総合的な学習の時間を中心に郷土の自然を守るために、自分たちができることを考えたり、社会科の学習を通して地域の伝統的な行事や活動について調べたりすることにより、郷土への関心を持ち始めている。

しかし、郷土の一員として文化や伝統を伝えていこうとする意識は薄く「楽しいから」「勧められたから」という理由で参加している場合がほとんどである。

本時の学習を通して、自分の郷土の文化や伝統のよさを改めて意識させるとともに、それらを守り、育てていこうとする心情を育てていきたい。

ウ 資料について

本資料は、主人公が村の伝統の祭りに参加し、祭りに対する周りの人々の思いを感じ取ったことにより、郷土のよさを考える内容である。

主人公は、父の進めで山車のおはやしに取り組みが、思ったより難しさを感じる。しかし、練習を見に来る村の人々や、熱心な指導者の姿から、祭りに対する願いや思いを知り、主人公の心が変化する。祭り当日、楽しそうな人々の顔を見て、自

分の郷土のよさを感じ、伝統を大切にしていける主人公の姿から、自分も郷土の伝統を伝えていくことができることに気付かせたい。

エ 指導に当たって

「気づく」の段階では、社会科の学習時間に記入した心のノートをもとに、自分達の郷土に伝えられてきた行事や祭りについて発表させ、体験を振り返らせたい。

「深める」の段階では、良子が父の言葉を簡単な思いで引き受けたことを押さえ、練習を重ねるごとに、考えが変わっていく過程を丁寧に押さえながら進めたい。また練習を大勢の人が見に来ていること、大人が真剣に教えてくれることが、村の伝統を子どもたちに引き継いでもらいたいという周りの願いであることに気付かせたい。

中心発問では、山車に乗る人たちだけでなく、それを見に来る人にとっても、この祭りが大切なものであることを感じとらせたい。そのことを通して良子に満足感とともに、郷土意識が高まり、伝統芸能を継承していこうという気持ちが起こってきたことに気付かせる。また、地域の祭りなどに参加した体験と関連させ、道徳的価値の自覚を図っていく。

「見つめる」の段階では、児童に今まで参加してきた郷土に関する活動を振り返らせるとともに、もっと積極的にかかわっていこうとする実践的意欲につなげたい。

「広げる」の段階では、地域の方の願いを聞くことや郷土の祭りの映像を見ることにより、郷土の伝統行事のよさを改めて感じさせるよう、余韻をもって終わりたい。

(4) 本時のねらい

郷土の文化と伝統を大切にし、郷土を愛する心を育てる。

(5) 展開

段 階	学習活動と主な発問	期待する児童の反応	支援の手だてと評価	資料
導 入 5分	1 自分たちの郷土に伝えられてきた行事や祭りについて発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・サイトギ ・福田の人形祭り ・なにやどやら 	<ul style="list-style-type: none"> ・心のノート P84、85の記入をもとに発表させ、体験を振り返らせる。 	心のノート
展 開 25分	2 資料「祭りだいこ」を読んで、良子の行動や気持ちについて話し合う。		<ul style="list-style-type: none"> ・感想を話させた後、本時の課題について話し合う。 	紙板書 絵
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>お祭りの日、集まってきた人たちの楽しそうな顔を見て、良子は、どんな気持ちになったか。</p> </div> <p>父からおはやしにさそわれた良子は、どんなことを考えたのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・おもしろそうだな。 ・かっこいいかな。 ・どうしようかな。 ・おとうさんはやってほしいんだな。 ・一人だと恥ずかしい。 ・友達も一緒ならやってみようかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・初めはわりと簡単な思いで引き受けたことを押さえ練習を重ねるごとに、考えが変わっていくことに気付かせる。 	
	<p>大勢の人が練習を見に来ている様子を見て、良子はどんなことを思ったのでしょうか。</p> <p>お祭りの日、集まってきた人たちの楽しそうな顔を見て、良子は、どんな気持ちだったでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・みんな祭りのことが心配なんだな。 ・とても大変なことなんだな。 ・練習は大変だけど、教えてくれる人のためにもがんばろう。 ・みんな私たちに期待しているんだな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大勢の人が見に来ていること、大人が真剣に教えてくれることを押さえる。 ・村の伝統を子どもたちに引き継いでもらいたいという周りの願いがあることに気付かせたい。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・お祭りって、いいなあ。 ・たくさんの人に喜んでもらえてよかった。 ・みんながお祭りを楽しみにしているんだな。 ・がんばって練習してよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・山車に乗る人たちだけでなく、それを見に来る人にとっても、この祭りが大切なものであることを感じとらせたい。 	効果音

展 開	深める 25分		<ul style="list-style-type: none"> ・この村に生まれてよかった。 ・この祭りをほこりに思う。 ・これからも「おはやし」に参加して、郷土の祭りを伝えていこう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・たいこをたたいた満足感とともに、郷土意識が高まり、伝統芸能を継承していこうという気持ちが起こってきたことに気付かせる。 ・祭りなど参加した体験と関連させながら、道徳的価値の自覚を図っていく。 主体的に価値を考えることができたか。(発言・表情) 	効果音
	見つめる 10分	<p>3 今までの自分を振り返って考える。</p> <p>きょうどの人たちがほこりに思っている祭りや行事に参加したことがありますか。そのときどんなことを思いましたか。</p> <p>今日の学習で分かったこと、考えたことは何ですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・盆踊りのたいこの練習をした。練習は大変だったけどたくさんの人が集まってくれたので、来年も参加したいと思った。 ・福田の人形祭りに参加した。伝統ある祭りなので自分もこれから伝える側になりたい。 ・サイトギを見に行き、火の粉をかぶりながら祭りをを行う人たちに感動した。たくさんの人に見てもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで参加してきた郷土に関する活動を振りかえるとともに、もっと積極的にかかわっていこうとする意欲につなげる。 自分自身を振り返ることができたか。 (道徳ノート) 	
終末	広げる 5分	4 地域の方の願いを聞き、郷土の祭りのビデオを見る。		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方の手紙を読み聞かせたり、郷土の祭りの映像を見せたりすることにより、今後の実践の意欲づけとしたい。 	手紙 ビデオ テープ

(6) 板書計画

写真

祭りだいこ

お祭りの日、集まってきた人たちの楽しそうな顔を見て、良子は、どんな気持ちになったか。

はじめの気持ち

- ・ おもしろそう
- ・ 友達もいっしょだから
- ・ すぐにできるだろう

大勢の人

熱心な大人たち

- ・ みんなが心配している
- ・ とても大変なことなんだ。
- ・ がんばろう。

絵

本番当日 山車の上で

絵

- ・ やってよかったな。
- ・ お祭りっていいなあ。
- ・ これからも「おはやしを続けよう」

きょうどの人がほこりに思う祭りや行事

きょうどに伝えられてきたものを大切にし、伝えていきたいわたしたちの御返地

- ・ サイトギ
- ・ 福田の人形祭り
- ・ ぼんおどり(なにかどやら)

(7) 資料分析

主題名 きょうど土の伝統を守る

資料名「祭りだいこ」(出典 みんなのどうとく 学研)

ねらい 郷土の文化と伝統を大切にし、郷土を愛する心を育てる。

場面	父からおはやしをやるよう誘われた良子	大勢の人たちが練習を見に来ている中で練習する良子	山車の上からお祭りに集まってきた人たちの楽しそうな顔を見た良子
主人公の意識	<ul style="list-style-type: none"> ・おもしろそうだな。 ・かっこいいかな。 ・どうしようかな。 ・おとうさんはやってほしいんだな。 ・一人だと恥ずかしい。 ・友達も一緒ならやってみようかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんな祭りのことが心配なんだな。 ・とても大変なことなんだ。 ・練習は大変だけど、教えてくれる人のためにもがんばろう。 ・みんな私たちに期待しているんだな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お祭りって、いいなあ。 ・たくさんの人に喜んでもらえてよかった。 ・みんながお祭りを楽しみにしているんだな。 ・がんばって練習してよかった。 ・この村に生まれてよかった。 ・この祭りをほこりに思う。 ・これからも「祭りだいこ」に参加して、伝えていこう。
学習者の意識	<ul style="list-style-type: none"> ・おもしろそうだな。かっこいいだろうな。 ・女の子一人だったら恥ずかしいだろうな。 ・まよったんじゃないかな。 ・私も友達と一緒にだったらできるかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・やってみたら難しかったんじゃないかな。 ・大人の人が熱心に教えてくれたんだね。 ・初めは、軽い気持ちだったのにだんだんしっかりやろうと思ってきたのかな。 ・地域の人たちは、夏祭りをみんなで待っているんだね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お祭りっていいね。 ・たくさんの人が喜んでくれてよかったね。 ・山車の上の人も見る人も心一つにして楽しんでいるね。 ・来年も参加して、祭りだいこを伝えていってほしい。
指導の意図	<ul style="list-style-type: none"> ・初めは、わりと簡単な思いで引き受けたことを押さえ、練習を重ねるごとに、考えが変わっていくことに気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大勢の人が見に来ていること、大人が真剣に教えてくれることを押さえる。 ・村の伝統を子供たちに引き継いでもらいたいという地域の願いがあることに気付かせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・山車に乗る人たちだけでなく、それを見に来る人にとっても、この祭りが大切なものであることを感じとらせたい。 ・たいこをたたいた満足感とともに、郷土意識が高まり、伝統芸能を継承していこうという気持ちが起こってきたことに気付かせる。
基本発問	父からおはやしにさそわれた良子は、どんなことを考えたのでしょうか。	大勢の人が練習を見に来ている様子を見て、良子はどんなことを思ったのでしょうか。	お祭りの日、集まってきた人たちの楽しそうな顔を見て、良子は、どんな気持ちだったのでしょうか。